

服部大池

(はっとりおいけ)



全景



取水塔



ため池の概要

ため池の所在地

広島県福山市

ため池の特徴

服部大池は、寛永年間に築かれたとされており、現在も200haをかんがいでおり、地域農業の貴重な水源となっています。

築造時、寛永20年(1643年)に人柱に捧げられたとする「お糸伝説」が伝えられ、その石像が池の畔に設置されています。

池には、美しい取水塔があり、また周辺に桜が多く植えられていることから、春には花見客も数多く訪れます。

堤体、水面、桜並木、農村の風景がとても美しい景観を創り出しているため池です。

土手や周辺の草刈り等は、水利組合が主体となり地区民とともにため池や周辺の景観を維持するように努めています。

関連情報